

令和7年度 横浜市地域ケアプラザ コーディネーター 共通研修

応用編
全5回

主な対象

基礎編を受講済又は経験24ヶ月以上の
地域活動交流コーディネーター、
生活支援コーディネーター

(定員に余裕がある場合はケアプラザ所長、包括職員、
横浜市職員の受講も可能)

受講料

無料

定員

80名

申込締切

9/18(木)

地域ケアプラザのチカラを集結して地域福祉の推進を!

※締切以降も空きがあれば継続して申し込みを受付ます

人々の孤立を防ぐ!

地域の力を引き出す!

誰も取り残さない
地域へ!

コーディネーターとしての視点とスキルを学ぶ

今日、地域社会では超少子高齢化が進むと同時に、子ども・若者の不登校・ひきこもり・虐待、障害者の地域自立生活の困難、生活困窮など、全世代、多様な対象に「生きづらさ」が広がっています。

地域ケアプラザの目的は、地域課題の解決に向けて地域を知り、人々をつなぎ、誰もが「しあわせ」を感じ、いきいきと暮らせる地域づくりを進めることです。コーディネーターとして、胸を張って地域と向き合い、住民と共に地域福祉を推進していきましょう。

研修の ポイント

Point 01

身近な地域の
「人づくり×まちづくり」の
中核的存在になる

Point 02

「知る・つながる・つなげる」
基本的アクションのための
スキルの獲得

Point 03

地域活動交流Co・生活支援Co
それぞれの強みを活かし
ケアプラザと地域に生きる専門職になる

日程

第1回

2025

9/26

(金)

第2回

2025

10/10

(金)

第3回

2025

10/28

(火)

第4回

2025

11/11

(火)

第5回

2026

1/23

(金)

全5回

時間はすべて

9:30~17:00

※単発での受講も可能です

会場

・ウィリング横浜研修室 港南区上大岡西1-6-1

<https://www.yokohamashakyo.jp/willing/access/>

京浜急行/市営地下鉄ブルーライン「上大岡」駅徒歩3分

申込方法

必要事項を記入の上、WEBフォームまたはEメールよりお申し込みください

必要事項

1. 参加日程
2. 申込者氏名(ふりがな)
3. 所属ケアプラザ名
4. 所在地(区)
5. 電話番号
6. Eメールアドレス
7. 年代(20代/30代/40代/50代/60代以上)
8. 現在の職種
9. コーディネータ経験(〇年〇カ月)※お申込み時点
10. 基礎編受講(受講済/未受講)

WEB申込フォーム

<https://yresearch-center.jp/r7cp-ouyou/>

Eメール

keapura@yresearch-center.jp

お申込み・お問合せ

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

TEL 045-228-9117 (受付9:00~17:00)

横浜市中区住吉町2-17金井ビル201

WEB
申込フォームは
こちらから



第1回

2025

9/26

金

9:30~17:00
会場変更

ウィリング横浜
122-123

内容 貧困と孤立 多世代にひろがる生きづらさ
～生きづらさが広がる中でコミュニティワークの意義と可能性～

社会では、経済的な貧困だけでなく、人間関係の希薄化による社会的孤立が深刻化しています。これは子どもから高齢者まで、多世代にわたって広がる「生きづらさ」として顕在化しています。このような状況において、コミュニティワークは、単なる個別支援に留まらず、地域全体を視野に入れた包括的なアプローチとしてその大切さを考えます。

講師 上智大学総合人間科学部社会福祉学科
准教授 鏑木奈津子氏



大学卒業後、医療ソーシャルワーカーとして勤務。その後、日本学術振興会特別研究員のほか、上智大学にて教鞭をとる。2014年より厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室、地域共生社会推進室に勤務。2021年より現職。〈主な出版物〉「詳説生活困窮者自立支援制度と地域共生—政策から読み解く支援論—」中央法規

ゲストスピーカー ソーシャルワーカー
根本真紀氏



社会福祉士。社会福祉協議会で生活困窮者の相談支援他、多様な主体の協働による地域支援業務に携わってきた経験から現在はフリーでNPOや活動者の支援を行っている。

第2回

2025

10/10

金

9:30~17:00

ウィリング横浜
122-123

内容 認知症、精神疾患の当事者と家族を地域がどう支えるか？
～ケアラーが孤立しない地域づくり～

認知症や精神疾患は、当事者自身の生活に大きな影響を与えるだけでなく、家族、特に主要なケアラーには大きな負担となります。当事者とケアラーが孤立しない地域づくりは、行政や専門機関だけでなく、地域住民の理解と関わりが不可欠です。誰もが安心して暮らせる地域を目指し、私たち一人ひとりができることを考えます。

講師 横浜創英大学看護学部精神看護学
教授 横山恵子氏



看護師、横浜創英大学看護学部教授、専門は精神看護学。精神障害者家族会の活動に関わり、「精神疾患の親をもつ子どもの会（こどもびあ）」設立を支援。ケアラーが孤立しない地域づくりに貢献している。〈主な出版物〉「精神障がいのある親に育てられた子供の語り 困難の理解とリカバリーへの支援」(明石書店)

ゲストスピーカー YCARP子ども・若者ケアラーの
声を届けようプロジェクト
熊谷佳音さん



小学校教諭。小学生の時より、うつ病の母と発達障害のある兄、幼い弟という家庭の中で家事などを担ってきた経験から、ケアラーの視点からその支援について発信、提案している。

第3回

2025

10/28

火

9:30~17:00

ウィリング横浜
122-123

内容 多様な地域課題の解決を目指す対話の場づくり
～ファシリテート応用編～

多様な地域課題の解決を目指すには、住民一人ひとりが主体的に関わり、異なる立場の人々が協力し合うことが不可欠です。そのためには、建設的な対話が生まれる「場づくり」が極めて重要になります。そして、その対話の質を高め、参加者全員が納得感を持って次の一步を踏み出せるように導く「ファシリテーション」について実践的に学びます。

講師 九州大学大学院統合領域学府客員教授/日本ファシリテーション協会 フェロー
加留部貴行氏



企業での人事、営業、新規事業部門に従事。その間に、福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として出向、九州大学での大学改革プロジェクトや教育プログラム開発に携わったりするなど、企業、大学、行政、NPOの4つの部門での経験を活かした共働ファシリテーションを実践。〈主な出版物〉「参加したくなる会議のつくり方」(ぎょうせい)

第4回

2025

11/11

火

9:30~17:00

ウィリング横浜
(予定)

内容 住民主体の地域づくりを進めるためのコミュニティワークの視点
～住民の社会参加ニーズの実現に向けて～

住民主体の地域づくりは、単に課題を解決するだけでなく、住民一人ひとりの生きがいやWell-being(幸福感)を高め、地域全体の活力を生み出す営みです。コミュニティワークは、そのための土壌を耕し、種をまき、育てる重要な役割を担っています。地域の住民一人ひとりが「自分たちの地域をより良くしたい」という思いを持って主体的に関わり、課題解決や魅力向上に取り組むための視点を考えます。

講師 関西学院大学 人間福祉学部社会福祉学科
教授 藤井博志氏



大阪市生まれ。兵庫県社会福祉協議会、大阪府立大学、神戸学院大学を経て現在に至る。博士(社会福祉学)・社会福祉士。専門は地域福祉・コミュニティワーク・地域ケアシステム。アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、現場にコンタクトし、現場と実践開発を行う地域福祉実践研究を方法とする。〈主な著書〉「地域福祉のはじめ方」(ミネルパ書房)「コミュニティオーガナイズングの理論と実践」(有斐閣)他多数。

第5回

2026

1/23

金

9:30~17:00

ウィリング横浜
(予定)

内容 地域活動交流&生活支援活動事例報告
～事例から学ぶ 住民主体の「地域づくり」～

住民主体で「地域づくり」を進めているコーディネーターの事例をもとに、地域へのストレングス視点、ネットワーク、アプローチ、プロセスを共に学びます。

講師 関西学院大学 藤井博志氏
根本真紀氏

ゲストスピーカー 地域活動交流コーディネーター2事例。
生活支援コーディネーター2事例の報告と事例検討。

コーディネーター 佐塚玲子
(よこはま地域福祉研究センター)



※会場は変更になる場合がありますので、ホームページでご確認いただくか、事務局までお問合せ下さい